男女共同参画啓発誌

子ども向け

尾張旭市

男女共同参画推進条例のあらまし

あなたらしさ　と　わたしらしさ

尾張旭市

男女共同参画ってなんだろう？

男女共同参画という言葉を知っていますか？

もしかしたら、知らない人もいるかもしれませんね。

「男女共同参画」とは、男女が性別に関わりなく、あらゆる場面で、それぞれが持っている個性や能力を発揮し、みんなで責任を持って、いろいろなことに取り組んでいくことをいいます。

尾張旭市は、まち中に元気があふれ、みんながいきいきと暮らしていくことができるように、「**尾張旭市男女共同参画推進条例**」をつくりました。

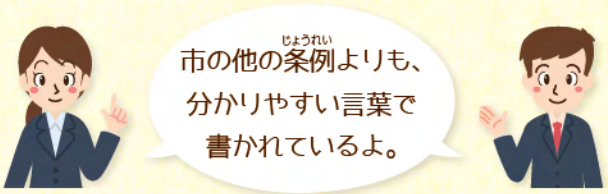
それでは、条例について一緒に見ていきましょう。

「尾張旭市男女共同参画推進条例」ってなに？

「条例」とは、都道府県や市町村などがその地域で定める「決まり」のことです。

「女だから」「男だから」という考え方にしばられず、ひとりひとりが個性や能力を十分に発揮でき、いきいきと暮らしていくことができる「男女共同参画社会」をつくるためには、みんなで力を合わせることが必要です。

そのために大切なことや、気をつけなくてはならないことをまとめたものが、「尾張旭市男女共同参画推進条例」です。



～家庭、地域、学校、職場など、あらゆるところで取り組もう！～

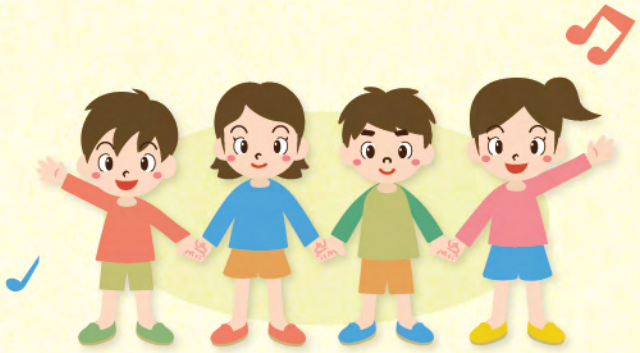
尾張旭市男女共同参画推進条例　5つの基本的な考えかた（第3条）

1 みんなの人権を尊重しよう

ひとりひとりが大切な存在。

自分もみんなも大切に。

性別による差別やいじめをしてはいけないよ。



2 やりたいことにチャレンジしてみよう

「女だから…」「男だから…」とあきらめないで。
自分がやりたいと思ったことをやってみよう。

3 みんなで話し合って決めよう

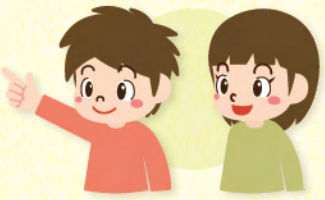
「女だけ」や「男だけ」で決めてしまわないで。
大切なことは、みんなで一緒に話し合って決めよう。

4 家庭と仕事などを両立できるようにしよう

家事や子育て、地域の活動や学校、そして仕事。
みんな大切なことだから、
お互いに助け合おう。

5 世界の取組みや、考え方を知ろう

男女共同参画について、世界中のいろいろな人が考えているよ。
日本だけではなく、世界の取組みや考え方にも関心を持とう。



「尾張旭市男女共同参画推進条例」には、他にどんなことが書かれているの？

男女共同参画は、市、市民、事業者（会社など）、教育関係者が協力しあって進めよう（第４条～７条）

性別で差別をしてはいけないよ 暴力など人を傷つけることをしてはいけないよ（第８条）

性別が理由で好きなことができないなんてイヤだよね。

「言葉」でも傷つけることがあるよ。気をつけよう。

多くの人に情報を伝えるときは、絵や言葉などに注意しよう（第９条）

男女の役割を決めつける表現や、暴力的な表現などは、使わないようにしよう。

市は、多くの人の意見を聞いて、「男女共同参画」を進めるための計画をつくります（第１０条）

「第２次尾張旭市男女共同参画プラン」という計画があります。
（計画期間　平成27年度～令和6年度）
尾張旭市はこのプラン（計画）を基にして、「男女共同参画社会」を実現するためのさまざまな取組みを進めます。

「尾張旭市男女共同参画推進条例」、少しは身近になったでしょうか。
条例の中に書かれていることのうち、特に大切なものを選んで紹介しました。

市のホームページに条例の全文を載せています。見てくださいね。

尾張旭市男女共同参画推進条例　検索

将来「やりたいこと」は？

みんなの「好きなこと」「得意なこと」はなにかな？
将来「やりたいこと」ってなんだろう？
今、性別にとらわれず、様々な職場で働く人が増えてきています。
「好きだから、得意だから、やりたいから」
そう思い続けて、夢をかなえ、
仕事を頑張っている人がたくさんいます。
次のページでは、そんな人たちを紹介します。

自分の思いを大切に

自分の仕事に誇りを持ち、いきいき働いている人がいます。
どうしてその仕事を選んだのかな？ お話をうかがいました。

ケーブルテレビ局員　梅岡 樺歩 さん

グリーンシティケーブルテレビ株式会社
コンテンツ部

Q ケーブルテレビ局を目指したきっかけは？

A 小学生のとき、ケーブルテレビの取材でインタビューを受けて「こんなお仕事があるんだ」と知りました。そんな思い出からケーブルテレビの業界に興味を持ち、自分の育った地域の人たちとたくさん関わる仕事で地域の役に立ちたいと思い、この職業につきました。

Q ケーブルテレビ局で働いてよかったと思うのはどんな時？

A 取材に行った先で、地域の人から「番組みたよ」「頑張ってね」と言ってもらえた時は、役に立てているのかなと感じます。この仕事をしていると、お店や歴史、文化のことなど普段の生活では分からない地域の情報を知ることが多いです。それをきっかけに、地域のことがもっと好きになりました。

Q 子どもたちにメッセージをお願いします。

A ケーブルテレビ局は、自分でカメラを回したり番組を作ったりと、自分のアイデアが形になる場所です。この職場は性別など関係なくみんなが活躍しています。どんな人も、自分がやりたいと思えること、やっていて楽しいなと思うことに、ぜひチャレンジしていってください。

保育士　瀧澤 一浩 さん

尾張旭市立西山保育園

Q 保育士を目指したきっかけは

A 中学校の職業紹介の行事で保育士という職業を知り、子どもと接する仕事がしたいと考え始めました。進学するにつれて保育士になりたいと強く思うようになり、この道を目指しました。

Q 保育士になってよかったと思うのはどんな時？

A 子どもの成長を身近で見守れるのはとても魅力に思います。
保育園で「せんせーい！これ見て！」とたくさん声を掛けてもらえるのはうれしく思います。

Q 子どもたちにメッセージをお願いします。

A これから様々な経験をすると思います。その中で興味があるものや好きなことを見つけていってください。きっと自分に合ったものが見えてくると思います。夢に向かって頑張ってください！

看護師　山本 浩輔 さん　旭ろうさい病院 看護部

Q 看護師を目指したきっかけは？

A 母親が看護師をしており、看護師という職業が身近にありました。忙しくて大変と言いつつも楽しそうに話す母の姿を見て、自分も看護師になりたいと思うようになり、高校生の頃には看護師になると決めていました。

Q 看護師になってよかったと思うのはどんな時？

A 患者さんの「ありがとう」という言葉は、いつも仕事をする力になります。看護師の仕事は体を拭くことや着替えの手伝いをすることもあり、女性の看護師では恥ずかしいと感じる患者さんのお手伝いができると、看護師になってよかったと思います。

Q 子どもたちにメッセージをお願いします。

A 仕事を「男だから」「女だから」という理由で考える必要はないと思います。自分がやりたい夢を目指すほうが、その仕事に就くための努力もできるし、仕事をしていて楽しいと思います。

救急救命士　岡部 都貴乃 さん　尾張旭市消防署 救急第三係

Q 救急救命士を目指したきっかけは？

A 高校生の頃、野球をやっていた時にチームメイトが倒れたんです。救急車を呼んだら、救急救命士が処置をしてくれ、その姿を見て、自分も人を助ける仕事がしたいと強く思いました。

Q 救急救命士になってよかったと思うのはどんな時？

A 今は救急隊ですが、以前は消防隊の仕事をしていました。救急、消防どちらの現場でも、傷病者や被災者、その家族は不安を抱えています。手当てや消火をするだけでなく、私が対応することで、不安を抱えていた方々が落ち着きを取り戻してくれると、人の役に立ててよかったなと思います。

Q 子どもたちにメッセージをお願いします。

A 救急や消防の仕事は、泊まり勤務や力仕事が多く、体力に自信があっても、やはり大変です。しかし、男女関係なく活躍できる仕事でもあります。性別に関係なくいろいろな仕事をしている人は、たくさんいます。みなさんも、ぜひやりたいことを見つけてください。

おわりに

男女共同参画について、みんなはなにを感じましたか？
家族や友達と話し合ってみてください。
そして、ひとりひとりが輝くことができる社会を、力を合わせてつくっていきましょう。

令和4年10月発行

尾張旭市市民生活部多様性推進課

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1
電 話 0561-76-8125(直通)
ＦＡＸ 0561-53-7008